

# 基礎研 レター

## コロナ禍における生活の変化(2)

—「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる  
生活不安の変化と地域間較差

生活研究部 主任研究員 井上 智紀  
(03)3512-1813 tomoki@nli-research.co.jp

### 1— はじめに

先日公表した[拙稿](#)<sup>1</sup>では、弊社が6月、9月に実施した「[新型コロナによる暮らしの変化に関する調査](#)<sup>2</sup>」から、生活実態と生活時間の変化について地域別に分析した結果を示した。本稿では引き続き同調査を用い、各調査時点である6月末、9月末および収束後の生活に対する不安として、感染不安、経済不安、働き方不安、家族関係不安と人間関係不安、行動不安のそれぞれについて、地域ごとに各時点の状況および時点間の変化を概観していく。

### 2— 感染不安

コロナ禍での感染に関わる不安についてみると、[第1回調査](#)を実施した6月時点では「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」が中国で高く、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は東北、北関東、甲信越、四国で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は北関東、甲信越、中国、四国で高い。[第2回調査](#)を実施した9月時点では、「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」は愛知県で、「感染しても適切な治療が受けられない」は南九州で高く、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は甲信越、北陸、東海で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は甲信越、東海および愛知県、南九州で高くなっている。

6月から9月にかけての変化では「自分や家族の感染による健康状態の悪化」がほとんどの地域で上昇しているほか、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」も甲信越、北陸、東海および愛知県、近畿および大阪府、南九州で上昇している。一方、「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」「感染しても適切な治療が受けられない」では横ばいまたは減少の地域の方が多く、上昇している地域は「感染が懸念されても適切な検査が受けられない」では東北、東海および愛知県、四国、南九州、「感染しても適切な治療が受けられない」で

<sup>1</sup> 井上智紀 (2020) 「[コロナ禍における生活の変化\(1\) — 「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる生活行動の変化と地域間較差](#)」『基礎研レター』(2020/12/16)

<sup>2</sup> 調査概要等、調査の詳細は弊社サイト内の[特設ページ](#)を参照されたい。

は北関東、愛知県、南九州のみとなっている。

なお、収束後では、「自分や家族の感染による健康状態の悪化」は甲信越で、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は東北、甲信越、北陸、東海で、「自分や家族の感染による人間関係への悪影響」は甲信越、中国で、それぞれ高くなっている。9月との対比ではほとんどの項目、地域で減少ないし横ばいとなっているものの、「自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷」は東北、中国で9月よりも上昇する結果となっている。

図表 1 感染不安

(単位：%)

	自分や家族の感染による健康状態の悪化				感染が懸念されても適切な検査が受けられない				感染しても適切な治療が受けられない				自分や家族の感染による世間からの偏見や中傷				自分や家族の感染による人間関係への悪影響			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	55.9	60.8	53.1	↑↓	53.9	53.9	48.5	→↓	56.6	55.6	50.5	→↓	53.2	56.3	54.1	↑→	48.0	51.0	49.4	
北海道	48.7	56.8	52.8	↑↓	56.3	49.6	44.8	↓↓	59.7	54.4	48.8	↓↓	52.1	55.2	52.0	↑↓	47.9	47.2	44.0	→↓
東北	47.9	57.1	50.9	↑↓	49.6	52.7	48.2	↑↓	57.0	55.4	55.4		58.7	58.0	61.6	→↑	48.8	51.8	51.8	↑→
北関東	57.5	63.0	55.6	↑↓	57.5	50.6	43.2	↓↓	52.5	56.8	48.1	↑↓	58.8	54.3	50.6	↓↓	56.3	51.9	50.6	↓→
南関東	57.5	60.9	53.0	↑↓	53.7	55.1	48.9	→↓	56.9	57.0	50.9	→↓	50.9	51.8	48.9		44.7	47.8	46.0	↑→
うち東京都	57.0	58.6	50.6	→↓	51.4	51.0	43.0	→↓	53.8	55.0	48.6	→↓	48.6	47.0	44.2		42.6	45.4	43.8	
甲信越	55.1	64.9	63.5	↑→	55.1	50.0	44.6	↓↓	59.4	50.0	51.4	↓→	59.4	66.2	66.2	↑→	55.1	59.5	58.1	↑→
北陸	55.3	60.6	57.6	↑↓	55.3	51.5	45.5	↓↓	57.9	42.4	36.4	↓↓	50.0	66.7	63.6	↑↓	42.1	48.5	48.5	↑→
東海	56.3	61.5	53.6	↑↓	51.7	57.9	49.6	↑↓	55.9	57.9	51.2	→↓	51.7	62.7	59.9	↑→	49.0	58.3	52.8	↑↓
うち愛知県	57.4	61.1	51.0	↑↓	50.7	59.1	51.7	↑↓	55.4	60.4	54.4	↑↓	53.4	58.4	55.0	↑↓	48.0	56.4	51.7	↑↓
近畿	57.8	61.1	52.6	↑↓	56.3	55.4	50.8	→↓	58.9	57.0	53.1	→↓	54.2	59.0	54.6	↑↓	47.7	51.0	51.5	↑→
うち大阪府	56.2	60.5	54.5	↑↓	56.9	56.9	48.5	→↓	58.8	58.1	51.5	→↓	53.6	59.9	54.5	↑↓	45.8	46.1	47.9	
中国	57.7	59.6	50.0	→↓	60.8	47.9	44.7	↓↓	57.7	47.9	40.4	↓↓	56.7	53.2	57.4	↓↑	55.7	55.3	57.4	
四国	48.6	60.0	50.0	↑↓	51.4	55.0	55.0	↑→	56.8	52.5	50.0	↓→	64.9	55.0	57.5	↓→	62.2	52.5	47.5	↓↓
北九州	58.9	64.4	52.9	↑↓	50.5	49.0	47.1		51.4	49.0	44.2	→↓	53.3	52.9	50.0		47.7	43.3	45.2	↓→
南九州	48.4	60.0	50.0	↑↓	45.3	52.9	51.4	↑→	45.3	61.4	57.1	↑↓	43.8	60.0	58.6	↑→	46.9	57.1	50.0	↑↓

全体±5%pt以上に網掛け

6～9月、9月～収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

### 3— 経済不安

コロナ禍で経済に関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は甲信越、北陸で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は甲信越、北陸、四国で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は東北、北関東、甲信越、北陸で、「自分や家族の収入減少」は東北、甲信越で、「自分や家族が仕事を失う」は北関東、甲信越、北陸で、それぞれ高くなっている。また、第2回調査を実施した9月時点では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は甲信越、北陸、愛知県、北九州で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は甲信越、愛知県で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は北陸、愛知県で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は甲信越、愛知県、中国で、「自分や家族の収入減少」は甲信越、北陸、東海および愛知県で、「自分や家族が仕事を失う」は甲信越、北陸、東海で、それぞれ高くなっている。

6月から9月にかけての変化では、多くの項目、地域で減少ないし横ばいの状態にあるものの、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は北九州、南九州で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は愛知県、南九州で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は北九州で、「勤務

先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は甲信越、近畿および大阪府、北九州で、「自分や家族の収入減少」は北陸、愛知県、北九州で、「自分や家族が仕事を失う」は甲信越、愛知県、近畿および大阪府で、それぞれ上昇している。

なお、収束後では、「世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る」は甲信越、北九州で、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は甲信越、北陸、愛知県で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は東海および愛知県、四国で、「自分や家族の収入減少」は東北、甲信越、北陸、愛知県、近畿およびお大阪府で、「自分や家族が仕事を失う」は甲信越で高くなっている。9月との対比ではほとんどの項目、地域で減少ないし横ばいとなっているものの、「日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化」は東北で、「東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化」は北海道、中国で、「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」は北海道で、「自分や家族の収入減少」は北海道、東北、中国で、「自分や家族が仕事を失う」は北海道、北九州で、それぞれ上昇している。

図表 2 経済不安

(単位：%)

	世界経済が悪化し、世界大恐慌に陥る				日本経済が悪化し、企業業績や雇用環境が悪化				東京五輪が開催されず、日本経済がさらに悪化				勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化				自分や家族の収入減少				自分や家族が仕事を失う			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	66.7	63.7	58.8	↓↓	71.9	68.1	66.8	↓	46.6	40.3	39.7	↓	54.3	54.0	52.7	↓	54.5	51.6	51.5	↓	42.1	43.5	43.6	↑
北海道	68.9	54.4	49.6	↓↓	72.3	63.2	57.6	↓↓	43.7	33.6	36.8	↓	49.4	34.9	38.6	↓	45.4	37.6	42.4	↑	34.5	31.2	34.4	↑
東北	63.6	61.6	57.1	→↓	68.6	65.2	68.8	↑	47.1	39.3	40.2	↓	64.2	57.9	50.0	↓↓	61.2	53.6	57.1	↑	45.5	46.4	46.4	→
北関東	67.5	65.4	58.0	→↓	76.3	59.3	59.3	→	51.3	39.5	37.0	↓	71.2	49.2	47.5	↓	58.8	51.9	48.1	↓↓	48.8	46.9	43.2	→↓
南関東	65.5	61.5	56.4	↓↓	70.7	68.1	65.5	↓	44.1	39.5	38.1	↓	52.4	53.9	53.7	→	53.1	49.6	48.6	↓	39.9	41.4	42.0	↑
うち東京都	70.3	59.4	55.4	↓↓	73.5	66.5	65.3	↓	42.2	35.1	36.7	↓	55.1	51.4	49.2	↓	55.4	45.0	45.0	↓	41.4	37.1	37.5	↓
甲信越	75.4	68.9	67.6	↓	79.7	79.7	78.4	↓	53.6	43.2	43.2	↓	59.6	67.3	67.3	↑	68.1	66.2	66.2	→	49.3	62.2	64.9	↑
北陸	73.7	75.8	63.6	→↓	81.6	72.7	72.7	↓	60.5	45.5	36.4	↓↓	66.7	60.7	60.7	↓	52.6	57.6	57.6	↑	52.6	54.5	48.5	→↓
東海	69.0	67.1	58.7	→↓	72.4	69.4	70.2	↓	47.1	45.2	44.8	↓	55.8	55.7	55.2	↓	59.0	58.3	56.0	↓	46.4	48.8	47.2	↓
うち愛知県	68.2	69.1	63.8	→↓	70.3	75.2	76.5	↑	48.6	47.0	46.3	↓	58.1	59.4	57.4	↓	56.1	61.1	61.7	↑	40.5	47.0	47.7	↑
近畿	67.2	67.8	62.9	→↓	73.2	70.4	69.1	↓	49.5	42.8	41.5	↓	50.4	56.5	55.0	↑	54.9	54.9	57.0	↑	41.4	45.9	45.1	↑
うち大阪府	67.3	62.3	59.9	↓	72.5	66.5	67.7	↓	49.7	43.7	38.9	↓↓	45.7	55.7	53.8	↑	53.6	56.3	59.3	↑	40.5	44.9	42.5	→↓
中国	70.1	56.4	57.4	↓	75.3	62.8	64.9	↓	51.5	31.9	35.1	↓↓	58.2	59.4	53.6	→↓	56.7	50.0	54.3	↓	44.3	38.3	39.4	↓
四国	67.6	52.5	55.0	↓	70.3	62.5	62.5	↓	56.8	42.5	45.0	↓	64.0	48.1	44.4	↓↓	54.1	40.0	40.0	↓	43.2	40.0	40.0	↓
北九州	60.7	70.2	65.4	↑	67.3	68.3	68.3	→	41.1	44.2	44.2	↑	42.5	48.6	43.1	↑	44.9	49.0	44.2	↑	37.4	32.7	39.4	↑
南九州	59.4	64.3	61.4	↑	64.1	68.6	64.3	↑	31.3	28.6	30.0	↑	51.1	51.9	53.8	↑	46.9	45.7	41.4	→↓	42.2	44.3	40.0	→↓

全体±5%pt以上に網掛け(「勤務先の業績悪化による収入減少、雇用の不安定化」の四国の6月および北陸、四国の9月、収束後はサンプルに限られるため参考値) 6~9月、9月~収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 4— 働き方不安

コロナ禍での働き方に関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」、「在宅勤務が増え、残業代が減る」のいずれも東京都が高く、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は愛知県でも高い。また、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は中国で高く、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は北陸でも高くなっている。また、第2回調査を実施した9月時点では、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は東京都が高く、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は北関東、中国で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は甲信越で高くなっている。6月から9月にかけての変化では、「在宅勤務が増え、

労働時間が長くなる」は東京都で唯一、「在宅勤務が増え、残業代が減る」は東京都、東海および愛知県、北九州、南九州で、それぞれ減少し、その他地域では上昇している。また、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は東北、甲信越、大阪府、北九州で上昇する一方、愛知県では減少、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」は北関東、甲信越、近畿および大阪府、南九州で上昇、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は北海道、北関東、近畿および大阪府、北九州で上昇、南関東および東京都、愛知県で減少、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は甲信越、大阪府、北九州、南九州で上昇、北海道、南関東および東京都、中国で減少と、地域によって方向性が異なり一貫した傾向がみられない。

なお、収束後では、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」は東京都で、「在宅勤務が増え、残業代が減る」は中国で、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」は北関東で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」は東北、甲信越で、それぞれ高くなっている。9月との対比では項目によらず多くの地域で減少ないし横ばいとなっているものの、「在宅勤務が増え、労働時間が長くなる」では東北で、「在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する」では東京都、愛知県、南九州で、「在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる」では北関東で、「在宅勤務が増え、残業代が減る」では北関東、甲信越、中国、北九州で、「在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる」では甲信越、南九州で、「在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる」では東北で、それぞれ上昇している。

図表 3 働き方不安

(単位: %)

	在宅勤務が増え、労働時間が長くなる				在宅勤務が増え、集中力やモチベーションが低下する				在宅勤務が増え、コミュニケーションが取りにくくなる				在宅勤務が増え、残業代が減る				在宅勤務が増え、時間管理型から成果主義へ変わる				在宅勤務ができる仕事ではないため、継続しにくくなる			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	14.7	20.4	16.6	↑↓	20.9	22.3	22.0		17.5	19.3	18.4		13.4	12.9	12.8		16.7	16.2	16.4		29.9	27.3	24.2	→↓
北海道	8.9	13.3	7.2	↑↓	13.9	14.5	12.0		13.9	13.3	14.5		5.1	9.6	9.6	↑→	7.6	10.8	12.0	↑→	20.3	10.8	12.0	↓→
東北	14.8	13.2	17.1	→↑	13.6	26.3	23.7	↑→	18.5	19.7	17.1		8.6	15.8	13.2	↑→	16.0	15.8	14.5		25.9	27.6	32.9	→↑
北関東	11.9	24.6	21.3	↑↓	20.3	21.3	16.4	→↓	15.3	19.7	23.0	↑↑	10.2	11.5	14.8	↑→	15.3	23.0	24.6	↑→	32.2	29.5	24.6	→↓
南関東	16.4	21.7	17.7	↑↓	25.3	26.3	26.9		20.4	22.3	21.3		17.1	15.7	15.2		20.4	15.9	15.4	↓→	32.6	28.6	24.6	↓↓
うち東京都	22.5	19.2	19.2	↓→	29.2	27.7	31.1	→↑	23.0	24.9	23.2		23.0	14.1	11.9	↓→	19.7	14.1	15.3	↓→	32.0	24.9	21.5	↓↓
甲信越	11.5	16.4	16.4	↑→	9.6	20.0	18.2	↑→	13.5	18.2	16.4	↑→	3.8	9.1	12.7	↑↑	11.5	9.1	16.4	↑→	26.9	34.5	30.9	↑↑
北陸	12.1	10.7	7.1	→↓	24.2	14.3	17.9	↓↑	15.2	3.6	7.1	↓↑	12.1	0.0	7.1	↓↑	15.2	3.6	28.6	↑↑	42.4	28.6	25.0	↓↓
東海	15.8	18.4	17.2		23.2	20.7	20.7		17.4	19.5	17.2		15.8	12.6	10.9	↓→	19.5	19.0	15.5	→↓	31.1	29.3	25.3	→↓
うち愛知県	17.1	21.8	11.9	↑↓	26.7	16.8	20.8	↓↑	19.0	18.8	14.9	→↓	14.3	8.9	6.9	↓→	20.0	16.8	13.9	↓→	28.6	26.7	20.8	→↓
近畿	12.5	21.8	14.5	↑↓	18.1	19.5	20.2		14.9	19.1	17.2	↑→	11.3	12.2	10.3		11.7	16.4	15.6	↑→	26.2	26.7	24.8	
うち大阪府	8.5	21.7	13.2	↑↓	14.9	19.8	18.9	↑→	11.7	18.9	16.0	↑→	13.8	16.0	15.1		12.8	17.9	16.0	↑→	19.1	27.4	23.6	↑↓
中国	14.9	23.2	18.8	↑↓	23.9	21.7	17.4	→↓	14.9	14.5	15.9		11.9	15.9	20.3	↑↑	22.4	21.7	20.3		44.8	26.1	23.2	↓→
四国	16.0	29.6	22.2	↑↓	16.0	18.5	14.8	→↓	24.0	18.5	18.5	↓→	20.0	11.1	7.4	↓↓	16.0	11.1	11.1	↓→	40.0	22.2	18.5	↓↓
北九州	16.4	22.2	19.4	↑→	17.8	25.0	23.6	↑→	19.2	18.1	16.7		15.1	8.3	12.5	↓↑	13.7	18.1	18.1	↑→	21.9	31.9	23.6	↑↑
南九州	19.1	23.1	17.3	↑↓	21.3	19.2	25.0	→↑	12.8	17.3	17.3	↑→	12.8	9.6	7.7	↓→	14.9	17.3	21.2	↑→	17.0	23.1	17.3	↑↓

全体±5%pt以上に網掛け(四国の6月および北陸、四国の9月、収束後はサンプルが限られるため参考値)  
6~9月、9月~収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 5— 家族関係不安(子どもや高齢家族)

コロナ禍で子どもに関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「休校などによる学習の遅れ」は北関東、北陸、中国、四国で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は愛知県、中国、四国で高く、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は中国で高い。第2回調査を実施した9月時点では、「休校などによる学習の遅れ」は北陸、愛知県、四国で高く、「休校

などにより身体的な成長が十分でないこと」は東海および愛知県、四国で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は四国で高い。6月から9月にかけての変化では、「休校などによる学習の遅れ」は東北で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」は四国で、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」は甲信越、大阪府、四国、北九州、南九州で、それぞれ上昇している。なお、収束後では、南九州、「休校などによる学習の遅れ」が北陸で、「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」、「休校などにより精神的な成長が十分でないこと」が四国で高いことを除いて地域差はみられず、9月との対比では「休校などにより身体的な成長が十分でないこと」が北陸、南九州で上昇している以外は横ばいしないし低下している。

高齢の家族に関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「生活維持が難しくなる」は中国、北九州で、「運動不足による老化や身体機能低下」、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は中国で、それぞれ高く、第2回調査を実施した9月時点では、「生活維持が難しくなる」は北陸、中国、北九州で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は東北、愛知県、中国で、それぞれ高くなっている。6月から9月にかけての変化では、いずれの項目についても多くの地域で上昇している。なお、収束後では、「生活維持が難しくなる」は甲信越、北陸、東海および愛知県、北九州で、「運動不足による老化や身体機能低下」は北陸で、「コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下」は愛知県、中国でそれぞれ高く、9月との対比では多くの地域で横ばいしないし低下している。

図表 4 家族関係不安（子どもや高齢家族）

(単位：%)

	休校などによる学習の遅れ				休校などにより身体的な成長が十分でないこと				休校などにより精神的な成長が十分でないこと				生活維持が難しくなる				運動不足による老化や身体機能低下				コミュニケーション機会減少による老化や認知機能低下			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	18.5	18.4	16.2		19.3	17.4	17.0		17.7	16.8	16.5		33.1	40.2	37.4	↑→	36.3	40.4	39.9	↑→	32.8	38.8	38.8	↑→
北海道	16.8	13.6	13.6	↓→	14.3	10.4	8.8	↓→	12.6	10.4	8.0		31.9	32.8	30.4		39.5	36.8	38.4		30.3	34.4	39.2	↑↑
東北	15.7	20.5	18.8	↑→	19.0	17.9	17.0		19.0	21.4	18.8		26.4	42.0	42.0	↑→	33.1	42.9	42.0	↑→	27.3	44.6	40.2	↑↓
北関東	25.0	17.3	16.0	↓→	23.8	17.3	17.3	↓→	22.5	12.3	13.6	↓→	32.5	39.5	32.1	↑↓	31.3	43.2	39.5	↑↓	32.5	42.0	39.5	↑→
南関東	17.1	17.7	14.3	→↓	19.3	17.2	16.3		18.2	17.6	16.9		31.8	38.5	34.1	↑↓	38.1	40.8	39.8		33.6	38.2	37.8	↑→
うち東京都	15.7	16.3	12.7	→↓	18.1	16.3	15.1		16.9	15.9	16.3		29.7	33.5	28.7	↑↓	39.0	37.1	38.6		33.3	37.1	39.0	↑→
甲信越	18.8	21.6	20.3		18.8	21.6	20.3		15.9	21.6	18.9	↑→	37.7	43.2	43.2	↑→	31.9	39.2	41.9	↑→	37.7	43.2	40.5	↑→
北陸	23.7	24.2	24.2		18.4	15.2	21.2	↓↑	18.4	18.2	18.2		26.3	45.5	45.5	↑→	31.6	42.4	48.5	↑↑	31.6	36.4	36.4	↑→
東海	20.7	21.4	19.8		22.6	22.6	20.6		19.9	17.9	19.0		37.2	44.8	44.8	↑→	37.2	43.3	42.1	↑→	33.0	43.3	42.5	↑→
うち愛知県	20.9	23.5	20.8		25.0	23.5	21.5		17.6	18.1	20.1		37.2	43.6	44.3	↑→	34.5	42.3	43.6	↑→	31.8	47.0	45.6	↑→
近畿	18.0	18.3	16.8		16.9	16.8	16.8		16.1	15.2	16.0		33.3	37.1	36.1	↑→	36.5	37.4	37.6		32.8	36.6	38.4	↑→
うち大阪府	15.7	15.0	12.6		15.0	16.8	14.4		13.1	16.2	16.2	↑→	37.9	36.5	34.7		40.5	40.1	41.9		31.4	37.1	38.9	↑→
中国	23.7	19.1	16.0	↓↓	24.7	17.0	17.0	↓→	23.7	13.8	14.9	↓→	43.3	45.7	40.4	→↓	42.3	42.6	41.5		44.3	44.7	46.8	
四国	29.7	27.5	17.5	→↓	24.3	27.5	25.0	↑→	21.6	25.0	25.0	↑→	24.3	37.5	37.5	↑→	18.9	37.5	37.5	↑→	27.0	30.0	27.5	
北九州	15.0	15.4	12.5		16.8	13.5	15.4	↓→	13.1	16.3	15.4	↑→	38.3	50.0	44.2	↑↓	39.3	43.3	41.3	↑→	31.8	36.5	36.5	↑→
南九州	15.6	12.9	15.7		17.2	14.3	18.6	→↑	10.9	17.1	17.1	↑→	25.0	41.4	38.6	↑→	23.4	35.7	37.1	↑→	21.9	32.9	31.4	↑→

全体±5%pt以上に網掛け

6～9月、9月～収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 6— 人間関係不安

コロナ禍での人間関係に関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「友人や知人との関係に距離ができる」は愛知県で、「新たな出会いが減る」は北関東、北九州で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北陸、東海および愛知県で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は東海および愛知県でそ

れぞれ高くなっている。また、第2回調査を実施した9月時点では、「友人や知人との関係に距離ができる」は東海で、「新たな出会いが減る」は中国、四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は甲信越、北九州、南九州で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」は北関東、東海および愛知県で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北関東、北陸、東海および愛知県で、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は東北で、それぞれ高くなっている。6月から9月にかけての変化では、「友人や知人との関係に距離ができる」はすべての地域で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」はほとんどの地域で上昇している。また、「新たな出会いが減る」は南関東、東海、近畿および大阪、中国、四国、南九州で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は東北、甲信越、大阪府、四国、北九州、南九州で、それぞれ上昇している。

なお、収束後では、「友人や知人との関係に距離ができる」は北陸、愛知県で、「新たな出会いが減る」は四国で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」は北陸で、「家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる」は北関東、東海および愛知県で、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」は北関東、東海および愛知県、中国、南九州で、それぞれ高くなっている。9月との対比では項目によらずほとんどの地域で横ばいないし低下している中、「新たな出会いが減る」は甲信越で、「監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる」、「家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る」、「非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える」は北陸で、それぞれ上昇している。

図表 5 人間関係不安

(単位：%)

	友人や知人との関係に距離ができる				新たな出会いが減る				監視が厳しくなり、他人に寛容でなくなる				家族と過ごす時間が増え、ストレスが溜まる				家族と過ごす時間が増え、一人の時間が減る				非対面のコミュニケーションが増え、トラブルが増える			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	24.5	33.3	27.7	↑↓	18.3	22.9	20.7	↑→	34.2	35.6	33.3		26.0	28.1	25.7		21.0	24.5	22.5	↑→	18.9	24.1	23.7	↑→
北海道	13.4	22.4	17.6	↑↓	16.0	16.0	11.2	→↓	31.9	32.0	24.8	→↓	20.2	23.2	22.4	↑→	16.0	16.0	16.0		16.0	23.2	20.8	↑→
東北	26.4	36.6	31.3	↑↓	19.8	21.4	19.6		31.4	37.5	35.7	↑→	25.6	29.5	27.7	↑→	18.2	25.0	24.1	↑→	14.0	32.1	28.6	↑↓
北関東	26.3	29.6	27.2	↑→	25.0	19.8	17.3	↓→	38.8	37.0	32.1	→↓	26.3	34.6	33.3	↑→	23.8	33.3	28.4	↑↓	23.8	24.7	21.0	→↓
南関東	25.1	32.3	27.6	↑↓	18.0	23.1	21.4	↑→	34.5	34.3	33.0		26.1	25.1	22.7		20.7	21.9	20.3		18.1	22.5	22.7	↑→
うち東京都	26.9	35.5	27.5	↑↓	20.5	21.1	18.7		34.5	34.3	30.3	→↓	22.9	23.9	20.3	→↓	20.9	19.9	19.1		18.9	19.0	20.7	
甲信越	20.3	31.1	27.0	↑↓	14.5	16.2	21.6	↑→	37.7	43.2	36.5	↑↓	26.1	27.0	21.6	→↓	21.7	18.9	14.9	→↓	15.9	27.0	24.3	↑→
北陸	26.3	33.3	33.3	↑→	15.8	15.2	9.1	→↓	36.8	36.4	39.4	↑→	31.6	18.2	27.3	↓↑	28.9	30.3	24.2	→↓	21.1	24.2	27.3	↑↑
東海	28.4	40.1	30.6	↑↓	21.1	24.6	22.6	↑→	33.7	36.1	36.1		32.6	34.9	33.3		26.4	31.3	28.6	↑→	25.3	28.2	27.4	
うち愛知県	30.4	38.3	32.9	↑↓	22.3	24.8	19.5	→↓	33.8	35.6	36.2		38.5	39.6	36.2	→↓	30.4	34.9	31.5	↑↓	24.3	28.2	28.2	↑→
近畿	25.0	35.1	28.9	↑↓	16.9	26.0	22.7	↑↓	34.9	34.3	31.4		26.0	30.2	25.3	↑↓	19.3	26.3	22.7	↑↓	18.8	22.9	22.7	↑→
うち大阪府	21.6	32.3	25.1	↑↓	13.7	22.8	19.8	↑→	30.7	34.7	26.9	↑↓	26.8	28.7	24.0	→↓	18.3	24.6	21.6	↑→	15.7	19.2	19.8	↑→
中国	25.8	36.2	28.7	↑↓	20.6	29.8	23.4	↑↓	35.1	33.0	34.0		24.7	31.9	29.8	↑→	23.7	28.7	28.7	↑→	23.7	22.3	24.5	
四国	18.9	27.5	27.5	↑→	16.2	35.0	27.5	↑↓	24.3	35.0	37.5	↑→	21.6	12.5	12.5	↓→	16.2	17.5	12.5	→↓	10.8	20.0	22.5	↑→
北九州	24.3	31.7	25.0	↑↓	23.4	18.3	18.3	↓→	29.9	41.3	35.6	↑↓	21.5	27.9	25.0	↑→	21.5	21.2	21.2		17.8	25.0	27.9	↑→
南九州	20.3	31.4	25.7	↑↓	7.8	18.6	20.0	↑→	39.1	42.9	37.1	↑↓	18.8	30.0	30.0	↑→	17.2	27.1	30.0	↑→	12.5	20.0	18.6	↑→

全体±5%pt以上に網掛け

6～9月、9月～収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 7— 行動不安

コロナ禍での行動に関わる不安についてみると、第1回調査を実施した6月時点では「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は南関東および東京、近畿で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は四国で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は北海道で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は東京都で、それぞれ高くなっている。また、第2回調査を実施し

た9月時点では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は東北、甲信越で、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は南関東および東京都で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は東北で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は北海道、南九州で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は北陸で、それぞれ高くなっている。6月から9月にかけての変化では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は多くの地域で上昇ないし横ばいの状態にあるなか、大阪府、中国では減少している。また、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は東北、甲信越で、「感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる」は東北、北陸、大阪府で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は北関東、近畿、南九州で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は北陸、四国、南九州で、それぞれ上昇している。

なお、収束後では、「感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる」は北海道、東北で、「感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる」は南関東および東京都で、「感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる」は南九州で、「感染リスクから、外食がしにくくなる」は東北で、それぞれ高くなっており、9月との対比では、すべての項目、地域で、減少ないし横ばいの状態となっている。

図表 6 行動不安

(単位：%)

	感染リスクから、店舗での買い物がしにくくなる				感染リスクから、電車やバスを利用しにくくなる				感染リスクから、タクシーを利用しにくくなる				感染リスクから、飛行機を利用しにくくなる				感染リスクから、外食がしにくくなる			
	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化	6月	9月	収束後	変化
全体	47.3	48.6	34.8	→↓	42.5	40.1	32.1	→↓	24.6	23.4	19.1	→↓	27.5	29.1	24.3	→↓	52.8	48.5	35.8	↓↓
北海道	49.6	49.6	40.8	→↓	38.7	34.4	28.0	↓↓	26.9	25.6	21.6	→↓	36.1	36.8	28.0	→↓	56.3	46.4	38.4	↓↓
東北	47.9	54.5	43.8	↑↓	27.3	41.1	35.7	↑↓	18.2	28.6	22.3	↑↓	22.3	22.3	24.1		47.1	48.2	42.9	→↓
北関東	47.5	46.9	38.3	→↓	36.3	28.4	25.9	↓→	22.5	22.2	18.5	→↓	20.0	27.2	19.8	↑↓	50.0	49.4	40.7	→↓
南関東	48.8	46.6	33.5	→↓	51.7	45.3	37.2	↓↓	26.6	22.8	17.6	↓↓	29.5	30.0	24.8	→↓	57.4	49.8	35.8	↓↓
うち東京都	44.6	45.4	30.3	→↓	54.2	49.4	38.2	↓↓	27.3	24.3	15.5	↓↓	30.9	32.7	25.5	→↓	63.1	50.6	32.3	↓↓
甲信越	33.3	55.4	36.5	↑↓	24.6	37.8	27.0	↑↓	18.8	20.3	16.2	→↓	20.3	21.6	20.3		49.3	50.0	31.1	→↓
北陸	42.1	39.4	18.2	→↓	31.6	27.3	21.2	↓↓	15.8	21.2	21.2	↑→	21.1	21.2	18.2	→↓	52.6	57.6	30.3	↑↓
東海	47.5	52.0	35.7	↑↓	37.9	40.1	28.6	→↓	21.8	22.6	21.0		27.2	28.2	21.8	→↓	53.6	51.6	36.9	→↓
うち愛知県	50.0	53.0	34.9	↑↓	41.9	43.6	31.5	→↓	23.6	18.8	19.5	↓→	27.7	25.5	18.1	→↓	54.1	49.7	34.9	↓↓
近畿	48.7	49.0	35.3	→↓	47.9	44.8	34.8	↓↓	26.3	25.8	22.2	→↓	26.8	30.2	26.3	↑↓	53.1	45.6	33.5	↓↓
うち大阪府	47.7	42.5	30.5	↓↓	42.5	43.7	35.3	→↓	21.6	26.3	23.4	↑→	26.8	28.7	25.7		47.7	44.9	33.5	→↓
中国	51.5	46.8	28.7	↓↓	36.1	31.9	24.5	↓↓	25.8	19.1	12.8	↓↓	28.9	28.7	20.2	→↓	44.3	43.6	35.1	→↓
四国	45.9	45.0	35.0	→↓	32.4	35.0	32.5		29.7	27.5	20.0	→↓	32.4	25.0	27.5	↓→	45.9	50.0	40.0	↑↓
北九州	41.1	47.1	32.7	↑↓	39.3	29.8	26.9	↓→	23.4	17.3	15.4	↓→	24.3	24.0	20.2	→↓	45.8	44.2	32.7	→↓
南九州	40.6	50.0	31.4	↑↓	21.9	21.4	15.7	→↓	23.4	24.3	17.1	→↓	28.1	40.0	32.9	↑↓	37.5	51.4	32.9	↑↓

全体±5%pt以上に網掛け

6～9月、9月～収束後で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

## 8— 結果の総括

以上みてきたとおり、感染不安、経済不安、働き方不安、家族関係不安と人間関係不安、行動不安といずれの局面における不安についても、各調査時点である6月末、9月末および収束後の3時点間ではそれぞれ様々に変化している上、地域によってもそれぞれ異なっていた。

時点間の差や地域差はいずれもそれぞれの時点、それぞれの地域における感染拡大の状況のほか、在宅勤務に関わる不安や交通手段に関する不安など、それぞれの地域固有の特性による影響も受けた結果であるように思われる。こうした生活上の様々な局面における不安が、第三波の真っ只中にある

今、どのように変化しているかについては、今月実施する第3回の調査の結果を用いて改めて示すこととしたい。